

第11回 社会科教員のための地理ワークショップ・開催案内 「アフリカ地誌の授業をどう創るか？-大陸規模の地誌の事例として-

国士舘大学地理・環境専攻では、大学の研究成果や教育の成果を社会・教育界へ還元するという主旨で、主として中・高の先生方を対象に、2001年度より「地理ワークショップ」を開催しています。2011年度も7月29日（金）～30日（土）に、標記のワークショップを開催します。今年度は、これまでに寄せられた意見を踏まえて、アフリカ地誌をテーマに、「地理ワークショップ」を行います。

とはいえ、本学地理・環境専攻専任教員にはアフリカを主たる研究対象とする者はありません。にもかかわらずアフリカを取り上げるのは、どうしても情報の少ないアフリカを事例に、（目前の出来事ではない）外国地誌をどう教えていくか・どう教えているかを、中高の現場の先生とともに考えるワークショップとしたいと考えたからです。これが今回の一つの柱です。

ただし、地誌という以上、「正しい」知識が前提になることはいうまでもありません。えてして（「誤った」）ステレオタイプな理解に陥りがちなアフリカについて、その概観（含「正しい」地域区分）、アフリカの文化（含イスラーム）や政治・都市など、地誌で取り上げる内容について、あらためて専門的な講義を受け、現状に関する「正しい」知識を得たいという人も少なくないと思います。このような観点から、自然地理学・環境問題等の内容については、本学専任教員が担当しますが、人文地理学的内容（地域区分、文化、イスラーム、政治・都市など）については、高名なアフリカ研究者で、文化人類学・宗教人類学者である嶋田義仁先生（名古屋大学）に講義を担当していただきます。なお嶋田先生には「討論プログラム」にも参加いただきます。

また、初日午前には社会科教育学の臼井嘉一先生（本学教育学専攻・教授；元福島大学学長）よりご挨拶いただきます。「社会科」（地歴科）における「問題」等や高大連携などについて、大学・学問レベルで問題になっていることなどに触れていただく予定です。

講義とともに、「討論プログラム」にも積極的に参加いただき、互いに有意義なワークショップにしていければと考えております。

記

- 1：開催日時 2011（平成23）年 7月29日（金）～30日（土）の2日間
午前10時～午後5時30分（予定時間割を参照下さい）
- 2：対象者 高校の「地理」担当教員、中学の「社会」担当教員など約40名程度（先着順）。
- 3：場所 国士舘大学世田谷キャンパス 中央図書館 AVホール 等
- 4：参加費 3,000円（当日徴収）。資料も当日配布いたします。
- 5：申込み方法 下記、記載事項を明記して、E-mailまたはFAXにて申込先まで。

【申込先】〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1 国士舘大学文学部地理学教室 加藤幸治

E-mail : k2kato@kokushikan.ac.jp

Fax :03-5481-3328（事務室共用FAXにつき宛先（加藤宛）を明記下さい）

【記載事項】

1. 氏名（読みにくい漢字にはふりがなを）、生年（西暦で）
2. 勤務先、担当科目
3. 連絡先（〒、住所、電話・FAX、E-mail；最終案内の送付先、緊急連絡先をお書きください）
4. このワークショップの開催を何で知りましたか？
 - 1：ホームページ
 - 2：地理学評論
 - 3：雑誌 地理
 - 4：地理教育研究会経由
 - 5：クチコミ
 - 6：ダイレクトメール
 - 7：その他
5. 取り上げてほしいテーマなど、ご希望がありましたら（ご希望に添えない場合もございます）。

6：締切 2011年7月15日（金）

7：担当講師等

- ・挨拶 白井 嘉一（本学文学部教育学専攻・教授：元福島大学学長）
- ・自然地理分野 野口 泰生（本学文学部地理・環境専攻・教授）
- ・ 〃 長谷川 均（ 〃 ）
- ・ 〃 磯谷 達宏（ 〃 ）
- ・アフリカ地誌 嶋田 義仁（名古屋大学文学研究科比較人文学研究室・教授）

【嶋田義仁先生の紹介】

1949年生。静岡大学人文学部講師・助教授・教授を経て、現在、名古屋大学文学研究科教授。

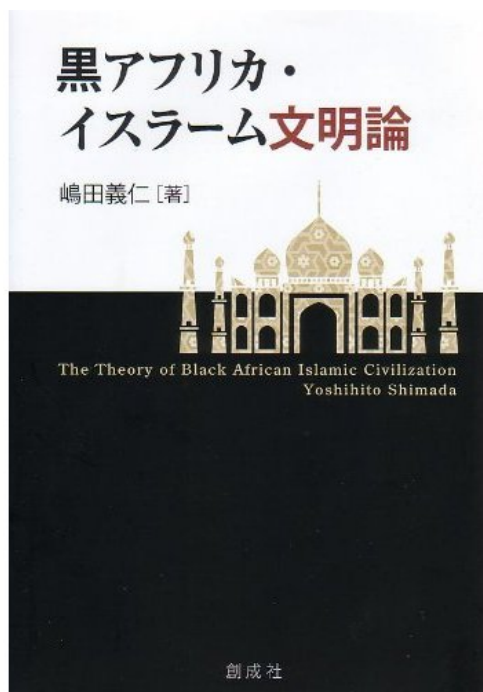
京都大学文学研究科博士課程修了・博士（文学）。社会科学研究高等研究院（フランス：Ecole des Hautes Etudes en Sciences Sociales）博士課程修了・第三期民族学博士（Docteur de 3e cycle en ethnologie）。日本での博士号は、『稲作文化の世界観—『古事記』神代神話の構造分析より—』（平凡社）による。フランスでの博士号は、『Cité cosmopolite du Soudan central: Rey-Bouba, capitale d'un lamidat du Nord-Cameroun』（中央スーダンのコスモポリタン都市：レイ・ブーバ、北カメルーンのフルベ王国の首都）による。

2つの博士号の研究からも分かるように、研究分野が多岐にわたりますが、それはご自身曰く「西洋思想研究を出発点にしなが、日本民俗学研究や神話学研究に入り、さらにアフリカを研究する人類学者になったからです」とのこと。まさに先生ご自身が「社会科」そのものを体現しているような方で、人間的な魅力にも溢れる先生です。「中等教育にたずさわる先生方に、アフリカ研究の蓄積を知っていただくこと、また先生方がどんな疑問をもっているのか知るのは大変有益」とのことです。今回、講師として参加いただきます。

「予習を…」という方におかれましては、下記が参考になるかと思います。また、先生ご自身のHP (<http://afroasia.lit.nagoya-u.ac.jp/~hikaku/dryland/index.html>) も参照下さい。

【嶋田先生 近著】

嶋田義仁（2011）：
『黒アフリカ・イスラーム文明論』創成社
（3700円＋税）。



イスラーム文明から見た鋭いアフリカ諸国の分析

明治以来西欧諸国文明を絶対視する教育を受けて来た者にとって新鮮かつ鋭い分析がなされた著書である。本書を読むことによって西欧諸国の思想のフィルターを通してイスラーム及びアフリカ諸国を見る事がいかに危険かよくわかる。キリスト教国が植民地化する前に文明など何もないという「コンラッドの闇の奥」の様なイメージは誤りであり。古くからイスラーム化によって、交易商業、都市国家社会、衣服、文字が既に導入されていたのである。文化人類学的な視点からイスラーム化が読み解かれていることにより、イスラーム教が明解な生活倫理を有した実に実践的な宗教であることが良く理解できる。

(Amazon カスタマーズレビュー(書評)より)

「アフリカ地誌の授業をどう創るか？-大陸規模の地誌の事例として-」
第11回社会科教員のための地理ワークショップ プログラム

第一日目 2011年 7月29日 (金)

時間	スケジュール	担当
09:30-10:00	受付	TA 他
10:00-10:15	開催の挨拶 趣旨とプログラムの説明	加藤 幸治
10:15-10:40	ご挨拶	臼井 嘉一
10:40-10:55	討論プログラム1 アンケート用紙の配布等	磯谷 達宏
休憩		
11:00-12:00	講義1 アフリカ大陸の自然と文化 巨大大陸の多様な自然、多様な生業文化、複数のアフリカ	嶋田 義仁
昼休み (アンケート回答時間も含む)		
13:30-15:00	講義2 アフリカの文明 サハラ交易・インド洋交易と都市・商業経済、牧畜、イスラーム文明	嶋田 義仁
休憩		
15:10-16:40	講義3 現代アフリカの国づくりと「アフリカ合衆国」構想 植民地主義とアフリカの再生	嶋田 義仁
16:40-16:50	討論プログラム2 アンケート用紙の回収、明日の予定 等	磯谷 達宏
休憩		
17:00-18:30	交流会 (希望者による参加費制)	

第二日目 2011年 7月30日 (土)

時間	スケジュール	担当
10:00-10:45	講義4 アフリカ大陸の地図・画像情報 webサイトの情報でつくる地図教材	長谷川 均
10:45-11:30	講義5 アフリカ大陸でケッペン気候区分を考える	野口 泰生
昼食		
12:45-13:30	講義6 アフリカ大陸の植生・土壌と環境問題	磯谷 達宏
休憩		
13:40-14:40	講義7 アフリカの多様な生業文化と諸部族共存 狩猟採集、漁業、牧畜、農業、商業、工芸、宗教	嶋田 義仁
14:50-16:00	討論プログラム3 アンケート結果の配布・説明、班ごとの討論	磯谷 達宏
16:10-17:25	討論プログラム4 班討論の結果発表および全体討論	磯谷 達宏
17:25-17:30	閉会にあたって	加藤 幸治